

2026 9

長月 September 令和8年 丙午

神武紀元2686年 平成38年 昭和101年
大正115年 明治159年 イスラーム暦1448年



いんろう 印籠

印籠に小菊紋様と「壽」の字が描かれた一枚絵。緒締に「大」と書かれており、壽が大の月の漢数字「十二、正、四、七、十」で構成されているとわかる。紋様の菊で「九月」を表していると考え、天明七年(1787)の大月となる。これは左下の朱印に記された「天明七」と一致する。

大小の並びは以下の通り

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
大 小 小 大 小 小 大 小 大 大 小 大

日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
第36週 白露 / はくろ 旧暦8月、酉の月の正節で、秋分前の15日目にあたり、新暦9月8日頃である。白露は「しらつゆ」の意味で、秋気も本格的に加わり、野草に宿るしらつゆが、秋の趣をひとしお感じさせる。	 秋分 / しゅうぶん 旧暦8月、酉の月の中気で、新暦9月23日頃である。この日は春分と同じく、昼と夜の長さがほぼ等しい。秋の彼岸の中日で、国民の祝日である。	1 中潮 友引 二百十日 旧七月二十日	2 中潮 先負 禾乃登(こくものすなわちみのる)稲が稔る	3 小潮 仏滅 七月二十二日	4 小潮 大安 七月二十三日	5 小潮 赤口 七月二十四日
第37週 6 長潮 先勝 七月二十五日	7 若潮 友引 白露 草露白(くさのつゆしろし)草の葉に白い露が宿る	8 中潮 先負 七月二十七日	9 中潮 仏滅 重陽 七月二十八日	10 大潮 大安 七月二十九日	11 大潮 友引 二百二十日 旧八朔 エチオピア暦新年	12 大潮 先負 ユダヤ暦新年 八月二日
第38週 13 中潮 仏滅 三りんぼう 鶴鳴鳴(せきれいなく)せきれいが鳴くようになる	14 中潮 大安 八月四日	15 中潮 赤口 八月五日	16 中潮 先勝 八月六日	17 小潮 友引 八月七日	18 小潮 先負 玄鳥去(つばめさる)つばめが南へ去っていく	19 小潮 仏滅 八月九日
第39週 20 長潮 大安 彼岸入り 八月十日	21 若潮 敬老の日 赤口 社日 八月十一日	22 中潮 国民の休日 先勝 八月十二日	23 中潮 秋分の日 友引 秋分 雷乃取声(かみなりすなわちこえをおさむ)雷が鳴らなくなる	24 大潮 先負 八月十四日	25 大潮 仏滅 中秋(十五夜) 三りんぼう 八月十五日	26 大潮 大安 彼岸明け 八月十六日
第40週 27 大潮 赤口 八月十七日	28 中潮 先勝 蟄虫坏戸(むしかくれてとをふさぐ)虫が地中に巣ごもりする	29 中潮 友引 八月十九日	30 中潮 先負 八月二十日	エチオピア暦 古代エジプトの暦と同じく、30日の12か月に5日または6日の余日を加えた365日~366日からなる。今日でもエチオピア共和国で用いられており、9月11日(閏年は12日)からエチオピア暦新年が始まる。グレゴリオ暦とはキリストの生誕年の解釈が異なり、7~8年の差(遅れ)が生じている。	ユダヤ暦 ユダヤ人が用いてきた太陰太陽暦の一種。月は新月の日を初日として、1日は夕方が始まる。1年は春分または秋分を年始とした12か月だが、閏年は1年が13か月となり、閏月を第6月の次に置く。ユリウス暦紀元前3761年10月7日を暦元としている。	中秋(十五夜) 旧暦8月15日。旧暦の秋は7月、8月、9月であり、真ん中の8月が中秋と呼ばれる。すすきに団子、お神酒をそなえてお月見をするのが定番だが、沖縄では祭りもある。中国では月餅を贈り親族・友人などを訪問し合う。東アジアでは日本を除き祝日のところが多い。